

留 学 報 告 書

記入日:2018年1月11日

所属学部／研究科・学科／専攻	法学部法律学科
留学先国	オーストラリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 西シドニー大学 現地言語: Western Sydney University
留学期間	2017年2月～2017年11月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1.2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年12月11日
明治大学卒業予定年	2018年9月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:2月中旬～6月中旬 2学期:7月中旬～11月中旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	44,000
創立年	1989

留学費用項目	現地通貨 (オーストラリアドル)	円	備考
授業料		0円	交換留学のため、授業料は明治大学に収める学費のみ。
宿舍費	\$10,686.20	約 100 万円	約 10 万円/月。×10ヶ月。
食費	\$100,00	約 100 万円	外食や自炊にかかる費用を含めて
図書費		円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費	\$5,000	約 50 万円	ケアンズ・アデレード・メルボルン・ゴールドコースト・ウルル・ニュージーランドへの旅費
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	25,686.20	約 250 万円	

渡航関連

渡航経路: Quantas 航空 SYD(シドニー)→HND(羽田)

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	74070 円
復路	68964 円
合計	143034 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Sky scanner、地球の歩き方

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学に紹介された寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数8人)

3)住居を探した方法:

大学の紹介。Email で紹介される。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮では学生一人に個室が与えられるが、他の学生とトイレ・シャワー・キッチン・リビングを共有します。寮には一緒に住む人数に関して 4 人・6 人・8 人の選択肢があります。こればかりは運なので何とも言えませんが、フラットメイトによってその部屋の良し悪しが決まります。私の場合は 8 人部屋でパーティが6日間連続で開かれたこともあったのでストレスでした。最悪部屋を変えればいだけなので、行って見て決めるぐらいでいいと思います。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した: Townhall で日本人向けの診療所を利用した。

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

International office の Jooliet さんに相談しました。基本的に西シドニー大学では助けを求めたら助けてもらえる環境が整っています。。勉強の面で言えば図書館に論文を個別でチェックしてもらえるサービスがあります。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特に犯罪に巻き込まれたことはありません。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の WIFI は大学のと同じ WIFI なので常に使えます。たまにシステム故障によって使えない時があります。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に銀行講座を開設して日本の両親から送金してもらいました。(Commonwealth bank を利用)

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

ほぼ全てのものは現地調達は可能です。旅行のプランを立てる時に、地球の歩き方があると便利だと思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
物流・メーカーを希望しています。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
日本人留学生向けの就職イベントがシドニーでも行われます。(ポストンキャリアフォーラムのシドニー版。)なのでスーツを持っていく方が良いと思います。また12月の中旬には東京でも行われます。内定を頂いた企業もあります。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
60 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 12 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Human Rights, Peace and Development	人権、平和と発展
科目設置学部・研究科	School of Social Sciences and Psychology
履修期間	Autum 2017
単位数	10
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー2時間、チュートリアル1時間(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Debra Keenahan
授業内容	国連憲章に記載されている基本的人権について学びました。また人権が迫害されている問題を扱い、チュートリアルではディスカッションを行いました。
試験・課題など	レポート3回
感想を自由記入	難民問題など今現在注目されている問題をケーススタディとして扱います。そのため、問題の現状や背景を理解している必要があります。加えて自らの意見を求められました。難しかったのを覚えています。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Politics of Australia and Asia Relation	オーストラリアと関連アジア諸国の政治
科目設置学部・研究科	School of Humanities and Communication Arts
履修期間	Autum 2017
単位数	10
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアルとディスカッションを一度に行う授業スタイル2時間(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回
担当教授	Diane Colman
授業内容	オーストラリア周辺のインド・中国・インドネシア・日本を含むアジア諸国との関係性を見ていきます。グループワークでは、中国・インドへのウラン輸出について、与えられた立場から、グループで発表を行いました。
試験・課題など	レポート2回、グループでの発表。
感想を自由記入	日本とオーストラリアの関係を学ぶことができ良かったです。それだけでなく、アジアを中心とした世界情勢も深く知ることができました。個人のレポートに加えてグループワークもあるので、バランスのいい授業だったと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cultural and Social Geographies	文化的・社会的地理学
科目設置学部・研究科	School of Social Sciences and Psychology
履修期間	Autum 2017
単位数	10
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー2時間、チュートリアル1時間(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Andrew Gorman-Murray
授業内容	社会的に立場が弱いグループに焦点を当てます。LGBT といった社会的にマイノリティの人々を社会がどのように受け入れていくか、受け入れるためには何を政府・個人レベルでしていかないとけないのかを考えました。
試験・課題など	レポート3回(内1回はグループで情報を集め、個人でレポートを書くもの)
感想を自由記入	留学で履修した授業の中で一番楽しかったです。どのように人々の違いを社会が受け入れていくのか。同じ人間であるものにも関わらず LGBT というだけで、なぜ差別が生まれていくのか。日本が直面している問題でもあるため、興味深い内容でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Sustainability and Development	持続可能な開発
科目設置学部・研究科	School of Social Sciences and Psychology
履修期間	SPing 2017
単位数	10
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー2時間、チュートリアル1時間(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Julie Wen
授業内容	最初の数週間は授業に関係する知識を学び、そのあとはグループワークが中心でした。グループワークはシドニーで実際に見られる持続的発展可能を促進する地方自治体の取り組み、また発展を阻害している現状を見つけ、それに対する解決策などを考えました。

試験・課題など	オンラインでの中間テスト・グループプレゼンテーション・グループレポート
感想を自由記入	グループワークなので、個人の課題とは違う苦労があります。メンバーにもよりますが、メンバーによっては非協力的であったりします。グループでのプレゼンテーションに加えて、グループのレポートも課されるので、メンバーと協力して作業をすることが多くなり、多くの時間を費やしました。留学の授業らしい、アクティブに行動することが必要でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Internatinal Relations	国際関係論入門
科目設置学部・研究科	School of Humanities and Communication Arts
履修期間	Spring 2017
単位数	10
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアルとディスカッションを一度に行う授業スタイル2時間(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回
担当教授	David Walton
授業内容	オーストリアを中心とした国際関係論
試験・課題など	レポート3回
感想を自由記入	先生がとても親切です。親日家で明治大学政治経済学部主催の西シドニー大学と明治大学間の短期留学プログラムの担当者でもあります。授業は今現在の世界状況について考えていきます。日本人としてあなたはどのように思いますか?とよく聞かれます。常に自分の意見を持つのは大切です。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
People, Place and Social Differnce	社会的差異(人文地理学)
科目設置学部・研究科	School of Social Sciences and Psychology
履修期間	Spring 2017
単位数	10
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー1 時間、チュートリアル1時間(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回
担当教授	Garth Lean
授業内容	人文地理学です。他民族国家の性格を持つオーストラリアだからこそ学ぶことができた授業でした。表面上は全ての国民は平等であるように見えますが、実際は宗教・出身・性別などが要因で差別され、それが人々の住む場所であったり、職業に影響を与えているといったことを学びました
試験・課題など	レポート2回、期末試験1回
感想を自由記入	興味深い授業でした。レベルも1なので学習しやすい科目だったと思います。他民族国家の形成などに興味がある方に強くお勧めします。



留学に関するタイムチャート

2016年 1月～3月	IELTS の学習
4月～7月	IELTS の学習、IELTS 受験
8月～9月	
10月～12月	
2017年 1月～3月	2月：出発
4月～7月	6月：期末試験
8月～9月	
10月～12月	10・11月：期末試験 12月：帰国
2018年 1月～3月	就職活動開始
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	将来国際的なフィールドで働きたいと思い、そのために海外で実際に様々な国籍の人々と交流する必要があると考えたからです。留学中は年齢や国籍も違う様々なバックグラウンドを持った人々との出会いがあります。そんな彼らと共同生活を送ったり、共にグループワークをこなしたことはかけがいのない経験です。英語力が向上しただけではなく、多様な価値観に触れたことによって視野が広がりました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力です。特にリスニングとスピーキングの能力が必要だと思いました。課題などは辞書を使用するなどして、いくらでも時間をかけたりすることができますが、友人同士の会話はそうはいきません。コミュニケーションに必要なスピーキングとリスニング能力は高めれば高いほど、友人と仲良くなれますし、充実した時間が過ごせると思います。
この留学先を選んだ理由	1.オーストラリアの大学のスケジュールが自分自身に最適だったこと。2.オーストラリアだからこそ学びたい分野がより深く学べると考えたから。スケジュールに関してはオーストラリアの大学は2月から秋学期が始まります。部活動をしていた私にとって、アメリカの大学を選択すると、部活動を途中で辞める必要がありました。それを避けて引退してから留学したいと考えた時にオーストラリアが最適でした。また学びたい分野が多民族国家の形成についてだったので、多民族国家の性格を持つオーストラリアを選択肢しました。
大学・学生の雰囲気	勉強しています。オンとオフがはっきりしており、勉強する時はしっかり行い、遊ぶ時は遊ぶ印象を受けました。西シドニー大学にはクラスごとにレベルが振り分けられており、レベルが高くなるほど、科目の難易度は高くなります。私がレベル2の授業を選択した時には、生徒が自ら挙手をして先生に質問をするなど、意識の高い学生が多いのも事実です。
寮の雰囲気	寮では学部生から大学院生まで、年齢や国籍も様々な学生が住んでいます。そのため、世界各国の人々と友達になれるチャンスが寮にはあります。私が滞在していたパラマッタキャンパスの寮は、定期的に Karaoke night, DJ night, BBQ などイベントが開かれます。そのイベントに参加することによって友人を作ることができました。私はグループフィットネスに参加し、トレーニングを通して友人を作ることができました。また自国の料理を持ち寄って夜ご飯を一緒に食べたり、誕生日パーティに参加したりして交友関係を広げることができました。
交友関係	留学開始当初は語学力が十分ではないため、自分を表現できなかったり、相手の言っていることを理解できずに苦しむことが多かったです。しかし積極的に挨拶をすることや、遊びに誘われたらとりあえず行ってみることなど、仲良くなりたいという態度を示して、時間を共有すれば、徐々に相手も心を開いてくれると思います。寮で出会った友達とニュージーランドやゴールドコーストに旅行に行けたことはかけがいのない思い出です。またパラマッタの寮には少なからず、他の大学から来た日本人留学生がいます。彼らといい距離感を保ちつつ、他国からの留学生や現地の学生との交流に力を注いでいました。
困ったこと、大変だったこと	フラットメイトとの共同生活がストレスでした。私は 8 人部屋に住んでいました。フラットメイトの中の3人が友人を呼び、パーティをひどい時には6日間連続で開いていました。パーティの後の片付けはなく、お酒の瓶や缶がキッチンやリビングに投げ捨ててあり、また床にはこぼれたお酒がそのままになっている状況も度々起こりました。最終的にはフラットメイト全員での話し合いで改善されましたが、非常にストレスでした。フラットメイトは選べず、運なので、我慢できないと思ったら、部屋を変えることをお勧めします。
学習内容・勉強について	私は国際関係論や人文地理学を専攻していました。授業は教授が一方的に話すというよりは、対話形式で、教授が投げかけた質問に対して学生が答えるといったものでした。あなたはどのように考えるのか。自分の意見を求められる機会が多くあります。ついていけない部分は自らが努力するしかありません。友人に聞いたり、教授に聞いたり、オンラインでの授業の録音を繰り返し聞くなどで補っていく必要があると思います。

課題・試験について	基本的に1科目3個の課題があります。科目のレベルや教授によって課題の形式は様々です。履修前にきちんと確認することを強くお勧めします。英語でレポートを書くのは想像以上に時間がかかります。文法が間違っていないかや表現はこれで合っているかなど、現地の友人に添削をお願いしていました。分からないことは恥ずかしがらずに、友人や教授に聞くことが何よりも大切です。
大学外の活動について	前期は他大学の野球部に所属しました。また後期は自らが中心となって日本語会話グループの創設・運営を行いました。西シドニー大学には野球部が無かったので、ニューサウスウェルズ大学の野球部にコンタクトをとって、毎週の練習と試合に参加していました。一方、後期は日本語を学んでいる学生が多く、日本語を話す場を求めていること、日本人留学生は現地生との関係を築くのに苦労していることから、仲の良い友人と共に日本語会話グループを立ち上げました。野球部と日本語会話グループで現地の友人を作ることができました。
留学を志す人へ	留学生活に、これをやったら正しいといった答えはありません。何をするのか、しないのか。すべて学生に委ねられています。どのような留学生活を送ったら自分は満足なのか。自分は留学生活をやりきったと言えるのか。自分なりの目標を持って取り組む必要があります。それがサークル活動かもしれませんし、勉強に真摯に取り組むこと、多くの友人に囲まれてパーティをすることもかもしれません。留学を終えて、心からやりきったと思えるような、後悔のない留学生活を送って欲しいと思います。頑張ってください。応援しています。留学はきっとあなたを成長させてくれるはずです。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	課題や復習	課題や復習	課題や復習	課題や復習	課題や復習	課題や復習	野球部試合
		Lecture	Lecture		Lecture		野球部試合
午後		日本語会話クラブ	Tutorial	Tutorial	Tutorial		野球部試合
							野球部試合
夕刻	課題や復習	グループフィットネス	課題や復習	グループフィットネス		課題や復習	
夜	友人とご飯		野球部練習	友人とご飯	友人とご飯		

